



2026(令和8)年
9月1日発行

6月議会

A group of people are performing on a stage. There are several individuals standing behind a long table or podium, and one person is seated on the left. A large black screen is visible in the background, and a large screen on the right shows a close-up of the performers. The stage is lit with blue and white lights.

P16

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



いじゅ さとる
伊集 悟 議員



問

その5個を直せば明るくなるのか。ならない場合はどうする。

教育総務課長 5個の取替えと残りのLEDも経年で照度も下がっているので取替えが必要だと考えている。

問

4月に嘉手苅自治会長と危険な通学路への安全対策を要請した。保護者からも早期対策を求める声が強い。今後の対応は。

土木部長 グリーンベルト（カラー舗装歩道）は、随時設置できるように努めていきたい。



琉球銀行西原支店裏に新たに舗装された横断指導線とグリーン舗装

子どもの長所伸長・苦手克服に有効なデジタルドリルのフル活用を！

問

小中で使っているAードリルは習熟度が低い子供たちに非常に有効とのエビデンスを紹介した成果は出ているか。

教育総務課主幹 Aードリルは習熟度に応じた問題が自動的に出題され、苦手分野の克服や基礎基本の確実な定着をはじめ、解ける楽しさを実感し、学習意欲の向上や家庭学習の定着にもつながっている。

問

先生方はデジタルドリルで子どもたちの学習状況を分析し、授業改善に生かしているか。

教育総務課主幹 個人の得意不得意のみならず、クラス全体の理解度を詳細に分析が可能で、児童一人一人の

実態に応じたきめ細かな個別指導やクラス全体の最適な授業づくりを実践している。

これまで提案してきたLINEの機能拡張に期待する！

問

LINEを使った住民票の申請、パブコメやアンケート、防災無線の内容通知、粗大ごみの申請、道路の不具合、外灯切れの通報、不法投棄の通報はできないか。

総務課長 パブコメや町民アンケート、防災無線の内容通知、通報機能は運用が可能。その他については今後考えていきたい。

その他の質問

- 本町の平和月間・平和教育
- 高齢者の外出機会の創出
- 防衛省の補助メニューの活用

施政方針について聞く

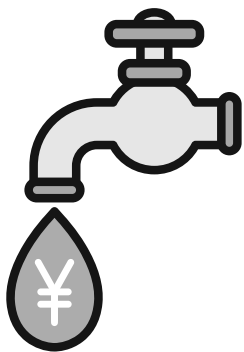
問 フレックスタイム制の導入について町長の見解を聞く。

総務部長 フレックスタイム制の

導入については、職員の柔軟な働き方を推進する上で有効な取組みだと考える。国や県が先行して導入していることから、その動向について調査したい。



あら た そう しん
新田 宗信 議員



水道料金の改定

135円70銭への改正が令和9年3月1日から適用される見通しから西原町の水道事業会計の収支にも影響があると考えている。

その他の質問

- 地域公民館等の補助金増額について
- 認可地縁団体としての役割について
- 自治会所有の共有名義について
- 教育行政について
- 事業所の指定ゴミ袋について

問

役場窓口の受付時間の短縮について、どの様に合意形成を図ったのか、住民サービスの低下にならないか問う。

町長

サービスの低下ではなく、町民サービス向上のために実施する。開始後にアンケートを実施し、成果や課題について整理していきたいと考えている。

問

農業委員会会長の議会出席がこの4年間一度もなく議論に

問

負担付贈与または寄付行為として指定寄付または企業版ふるさと納税との関りについて見解を聞く。

総務部長

「負担付贈与および負担付寄付」とは寄付や贈与を受ける代わりに、自治体が法的な履行義務を負うもので、「指定寄付」は、寄付に對し法的な義務が発生せず、寄附者の意向に基づき、自治体が活用するもの。「企業版ふるさと納税」もこの指定寄

- 二元代表制について
- 小波津川に設置している人道橋の開放予定について
- 金秀鉄工橋の新設予定道路整備について
- 地産地消について
- 観光PR振興事業について
- 消防・防災体制等の確立について
- 環境保全対策の推進について
- 西原町まちづくり基本条例について



なか まつ 勤 議員



18歳(高校生)までの医療費無償化実現へ

問

こどもの健康確保、貧困の連鎖防止、安心して子育てできる環境づくりをどう位置づけるか。

福祉部長

こども医療費助成制度の拡充は保護者の経済的事情により受診タイミングが遅れることがないよう

学校教育とラーケーション制度導入について

問

出欠の扱い、通知表、調査書、内申、受験及び進学との関係と、学びの確認方法を聞く。

教育部長

県の答申と同様に欠席扱いはしない。通知表、調査書、内申、受験及び進学も影響はないと考える。学びの確認は義務付けない。

生活保護制度は最後の砦！町民の権利！

問

被保護世帯数と人員、高齢者世帯か母子世帯などの構成を聞

命を守る防災計画について

問

計画について住民への周知は、計画は作成で終わりではなく住民に理解され初めて機能する。内容の公表や住民・議会への説明の場を設ける考えはあるか。

総務部長

地域防災計画のHPへの掲載、概要版を全世帯に配布し内容

も含め一定の理解はありと考える。実際行動については住民が自らの事として主体的に動くことが不可欠と考える。説明会等の開催予定はないが、住民に理解されて初めていざというときの行動につながるため、引き続き広報誌やHP等で繰り返し周知を図っていききたい。



その他の質問

- 学びと成長のため、3学期制度の見直しについて

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



福祉部長

本町の成年後見制度首長申立て件数は、令和5年度1件、令和6年度1件、令和7年度2件となっている。

マンホール蓋の異音について

問

多くの県道でマンホールの蓋が車を通る度に「ガタガタ」と音を立てていて、就寝時にびっくりして起きたりする旨の苦言が、多くあるが、その対策はどうなっているか。

建設部長

町内道路には、多数のマンホールの蓋があり、それぞれ管理者が異なるので、車両通行時の音が発生する箇所については、情報提供があれば調査を実施し、各管理者で緩衝材の設置及び蓋の取り換え等の対応を行っている。



路面のマンホールのガタツキへの対応は？

池田ハイツ自治会について

問

同自治会では自治会が1ヶ月3,000円だという。が、2,000円は下水処理費に充てると言うが、その件について町の援助は出来ないか。

建設部長

池田ハイツ自治会では、汚水処理の方法として集中浄化槽を使用しており、一般個別浄化槽と同様に維持管理費は使用者が負担するものと考え、下水道使用で賄っているため、下水道事業者からの援助はできない。

中学校卒業生の進路について

問

去る3月、西原町の両中学校の卒業生の進路はどうか。

教育部長

西原中では総数201名、内訳は、県内公立170名、県内私立6名、県外4名、高専3名、その他進学1名、就職3名。東中で総数183名、県内公立161名、県内私立16名、県外2名が進学し、就職1名、その他未定6名となっている。

その他の質問

- 西原町議会職員の報酬額について
- 新教育長の決意の程について
- 西原町の教育の可能性について
- 西原町つくり支援の会について

成年後見制度について

問

認知症や知的障害など判断能力が不十分な人の財産管理や生活を支援する成年後見制度で本人や親族に代わって、居住地の市区町村長が利用開始を家庭裁判所に求める「首長申し立て」が2025年、制度開始されたが、西原町の現状はどうなっているか。

町政運営全般について

問

西原町の教育行政を担う新しい教育長の就任、大いにその手腕に期待する。そこで、就任にあたっての所信と、西原町の抱える教育行政の課題等に対する意気込みを聞く。

教育長

こどもたち一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残されない教育の実践。地域の多様な社会教育力を最



き な まさ もり
喜納 昌盛 議員



問

今年度各部の入札等の外部発注事業予定の事業数・事業名、予算、時期は。

建設部長

令和8年5月13日に商工会にて事業者向け説明会を行い、土木課、都市整備課、上下水道課、産業観光課、教育総務課、文化課の6課で、工事40件、委託37件、合計77件。

問

「西原町特別報酬等審議会」の内容と町長の対応、対処は。

町長

令和8年4月の開催で、物価高騰による社会情勢の考慮した上で、議員報酬及び町三役の月額を見直すことが適当であるとの答申を受け、町当局としては、審議会の答申を尊重していきたい。

大限に活用した3つの柱、一つ目が安心して学べる場づくり、2つ目は自己有用感の醸成、3つ目が何でも挑戦できる雰囲気づくりを掲げる。喫緊の課題は、不登校児童生徒の増加、特別支援教育の充実が挙げられ、新たに校外自立支援教室の設置、特別支援教育アドバイザーの各校への配置を行っている。



誰一人取り残されない教育を

問

4年前、予算編成緊急アクションプラン（第二次）が終了し、財政状況改善がある程度なされてきたと考える。今後の見通しは。

総務部長

各年度で歳入不足が見込まれ、令和9年度約5億7,600万円、令和10年度約7億2,300万円、令和11年度約5億9,300万円となり、決して楽観視できない。

その他の質問

○「国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会」の動き、町への情報提供は

問

オンライン手続60事業実施されて、5年間経費の動向について問う。

総務部長

令和3年度約21億6,700万円、令和4年度約22億6,700万円、令和5年度約22億6,500万円、令和6年度約24億3,800万円、令和7年度約25億4,500万円。

問

来庁者が減っている現状だが、窓口業務の人員費は減っていない。どう考えているか。

企画財政課長

開庁時間変更については、今は5時15分まで窓口を開けているので、効果としては見えにくいですが、開庁時間変更後に、経費削減が見える形で進めていく。



おおしろ よしひろ 大城 好弘 議員



開庁時間9:00～16:00の対応について

問

町民への周知の現状とオンライン事業の達成度は。

町長

役場庁舎のポスター掲示、来庁者へのチラシ配布、町ホームページと町公式ラインで配信、マスコミへの情報提供等。オンライン申請について

問

オンライン申請業務で何%ぐらい活用されているのか。
企画財政課長 令和7年度実績で平均25.9%。

問

時間変更で、年間600万円の経費を削減という積算について問う。

総務部長

職員の平均時給2,107円を用いて算出。管理職を除く職員が月1時間の時間外勤務を減らした場合、月約50万円の12か月分で約600万円の削減となる試算。

問

5年間の実績を見るとオンラインしても人件費は増大している。オンラインによる費用対効果はどう判断しているか問う。

企画財政課長

定年延長制度や人勧の給与改定に基づき人件費が増大している。オンライン申請は、利用者の利便性が高まることがメリット。



西原町役場、開庁時間変更のチラシ
(10月1日より実施)

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やま しろ かつ たか
山城 勝貴 議員



にどのような事業が想定されるのか。

福祉部長

具体的には日常生活支援、医療機関への入院・退院手続、入院中の物品準備、緊急時の対応、死後の事務、それに遺体引取り、遺品整理、葬儀、埋葬などの事業が創設されている。

問

身寄りのない高齢者の把握状況は。

福祉課長

身寄りのない高齢者の把握は実質できていないが独居老人世帯数は押さえている。

問

身寄りのない高齢者への支援拡充のため、生前の入院・施設入所手続きから、死後の葬儀・納骨といった「死後事務」までを、公的なサポートとして包括的に提供する新たな制度が創設されるとされる社会福祉法が改正される見通しだ。改正に伴い具体的

福祉サービス

の市町村格差改善を

問

障がい者の移動支援について、2割負担から1割負担へ変更できないか改めて聞く。

福祉部長

財政状況を考慮し、安

定的に事業を継続するため2割の負担をお願いしている。

問

新年度予算編成時、この件に関してどのような調査、検討が行われたのか。

福祉部長

福祉部全体として、子ども医療費、保育、学童等の要望もある。優先順位をつけて注視したい。

不登校支援、より地域と連携した取組みを

問

不登校支援について、各自治会が展開しているこどもの居場所との連携状況は。

教育総務課主幹

具体的に自治会のこどもの居場所とは連携は行っていないが、個々の実態に応じて様々な居場所があるのは非常に重要だと思つ。

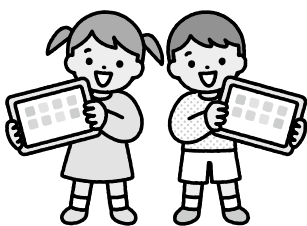
GIGAスクール、家庭との連携を

問

タブレットが授業でどのように活用されているのか保護者に浸透していない。Aドリの活用なども含めて家庭での協力も必要では。

教育総務課主幹

Aドрилに関して、保護者のほうにしっかりと周知ができていない現状である。



その他の質問

- 地域福祉計画について
- 特別支援教室について

トップセールスを質す

問

宮崎防衛副大臣への要請内容を聞く。

町長

本町には、米軍基地が存在しないが普天間飛行場に起因する軍用機等が宅地上空を飛行している。住民の生活環境を守るために特定防衛設関連市町村への指定について宮崎防衛副大臣へ要請を行った。



や び く みつる
屋比久 満 議員



問

教育長の見解を聞く。

教育長

家庭教育の日として位置付けて推し進めるとするのは、非常に有効だと思つているので、前向きに進め

問

掛保久地内の町道が隣地と1mの段差があり安全策の要望があるが見解を聞く。

建設部長

可能な限り早期にガードレール等の落下防止策を内部で検討したい。

問

我謝公民館手前の橋梁工事が2年間進捗してないが見解を聞く。

問 手ごたえと成果を聞く。

町長 防衛施設周辺の環境整備等に関する法律第8条に基づく民生安定助成事業の活用について提示があり、今後活用出来るように検討したい。

問 今後の、超党派議員団との要請行動の考えを聞く。

町長 超党派での要請について

は、町の課題事項が一步でも前進出来れば前向きに検討したい。6月15日、16日に東京出張が有るのでぜひ同行したい。

■ラーケーションについて 質す

問 反対する理由を聞く。

教育部長 これまでは学校への負



ぎ ま しゅん た ろ う
儀間 駿太郎 議員



■西原東小学校の建設と施設の維持管理について

問 西原東小学校の現在の進捗状況と今後のスケジュール、財政規模は。

教育部長 令和7年度の改築基本計画に基づき、民間活力導入可能性調査を進めている。PPP/PFI事業



西原東小学校の建て替え建設、進捗状況は？

で進める場合、令和9年度以降に事業者の公募選定を行う。概算工費は約56億〜60億円だが、物価上昇を踏まえて今年度適正な事業費を再算出する。

問 学校施設の修繕・維持管理における優先順位と物価高対策は。

教育部長 児童生徒の安全確保を最優先し、費用対効果などを総合的に勘案する。また、長寿命化計画を見直し、将来負担コストの軽減と予算の平準化を図っていく。

ていきたいと考えている。

■道路行政を質す

問 小波津川沿いの片側通行から交互通行の時期を聞く。

建設部長 交互通行の切替え時期は、7月末を予定している。

■通学路の安全対策と人材育成について

問 通学路の安全対策における現在の課題と今後の取組みは。

教育部長 子ども一人ひとりの登校ルートを完全に把握する難しさが課題。今後は地域やPTA等との連携をさらに強化する。

教育総務課主幹 保護者と一緒に下校しながら危険箇所を確認する取組みなどを実施している。

問 地域で活躍する方々と連携した人材育成についての見解は。

教育部長 地域ぐるみの人材育成が必要不可欠であり、多様な資源や社会教育力を最大限に発揮することが重要である。

建設部長 昨年度に工事着手前の磁気探査業務を完了し、今年度工事を完了する予定。

その他の質問

○ 移动式防犯灯について

■財政運営と公共施設の包括管理について

問 次年度予算獲得に向けて県や国とどのように調整していくか。

町長 これまでの補正予算頼みではなく、必要な財源を「当初予算」として確実に獲得するよう、強い要請活動を行っていく。

問 物価高による維持管理費等の増加に対する考えは。

副町長 専門的な見地からの予防保全を重視して建物の長寿命化を図ることで、結果的に将来の多額な更新コストを圧縮していく。

その他の質問

○ 児童生徒の派遣費補助について
○ 行政のデジタル化について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



こ ひろ い 伊計 裕子 議員



対応は行っていない。

問 町独自に医療機関へ調査するということは、検討していないのか。

健康保険課長

国が医療機関の供給状況の相談窓口や情報提供窓口を設置し、情報集約をしていると考えているので、町独自の調査は検討していない。

ナフサ不足への対応は？

問

医療用手袋や人工透析に必要な器具など資材不足が言われているが、町内の医療機関への影響と対応について聞く。

福祉部長

町内医療機関からナフサ不足に対する具体的な支援等についての報告はなく、町独自の影響調査や

西地区の鉄塔移設工事が始まるが

問

施工期間は、2基×3年で、6年という認識で良いか。

都市整備課主幹

2基で3年の予定となっている。

問

事業期間を7年延長し、進捗率は、どの程度上がるのか。

都市整備課主幹

令和16年3月31日



ま え し ろ てつ 真栄城 哲 議員



問

さまざまな業種に影響があるが、町内企業への影響と対応について聞く。

建設部長

町商工会にも確認したが、町内企業からナフサ不足に関する相談はまだない。今後も商工会と連携しながら、町内企業の状態を確認したい。

問

町内の事業所全てが商工会に加入しているわけではないと

思うので、商工会だけとの連携ではなかなか町内の事業者のことは見えないのではないか。

産業観光課長

商工会の会員ではない事業所もあるが、産業観光課にまだ相談がない。相談があれば対応していきたい。



西原町商工会

学童の待機児童への対応は？

問

特別職報酬等審議会へ、町が独自資料を審議会に提出したのか。求められたのか。

総務課長

前回審議の振り返りや総合的に勘案し審議を行うということとで提出した。求められてはいない。

問

議長が陳情した際、答申が書かれたものがあつたはず。金額と共に。事前に数名の審議委員に接触しているという。町長これは誘導

問

放課後居場所緊急対策事業の実施状況を聞く。

福祉部長

町内3カ所で実施し、27名の待機児童の受入れを確認している。

問

27名の待機児童は受入れたが、70名待機児童がいるとのこと。その対応を聞く。

こども課長

児童館、特に坂田と東児童館の来館が非常に増えている。来館児童に対して、夏休みは、お昼時間の開館も含めた検討を行っている。

その他の質問

- 平和行政について
- 指定ごみ袋の現状、供給不足になった場合の対策について
- 学童施設の修繕やキャリアアップ処遇改善への検討
- 今年度完了予定公共事業の進捗状況について
- 公契約条例作成への検討

たか。また、今回の歳入欠陥が生じたことなど町民に、しっかり知らせるべき。意図的に隠したのか。

総務課長

監査員の指摘は、ホームページに掲載している。

問

なぜ広報誌に掲載しないのか。多くの方は、紙ベースの広報誌を見ている。

総務課長

ホームページは即効性があり広報誌は紙面の都合があつた。

までに、100%になる。

問

これまでの答弁で2億円/年の予算で、残工事費約50億円どうやって7年間で終わるのか。

町長

さらに2億円の補正予算を獲得して4億円程度の予算である。

意見

50億円を4億円で割っても工期内で完了しない。早い段階で地権者説明をするべき。



西原西地区の鉄塔移設について

審議会の委員への誘導では!!

にあたらぬのか。

町長

話が確か知らず、誘導かどうか私にもわからない。

良しも悪しきも、町民の知る権利

問

令和6年度決算において、町長の決裁を得ず事業を進め、補助金の支払いまで完了したと監査員より指摘を受けた。広報にしはらに掲載し

認したところ、月6万円。

問

本町での導入は、いつ頃になるのか。

教育部長

現段階においては、引き続き教職員の負担を軽減するためにも迅速に顧問弁護士を活用できる体制を構築し、学校を支援していきたいと考えている。SL制度の導入については、近隣自治体の状況や費用対効果、また弁護士確保に係る経費などを調査研究していく。

問

今、西原町ではSLを活用する事案はないと理解してよい。

教育総務課主幹

いじめは実際に件数としては上がっているが、先生や保護者が初期対応を非常に丁寧に行っていることがあって、SLを至急活用すべき事案はない。

問

重要な内容であり、そこをちゃんと載せないと。今後も伏せるのかと心配だが。

総務課長

透明性ある行政運営を図るうえで、しっかりと発信すべきと考えている。

ラーケーション制度の導入について

問

本町の取組みを聞く。

教育部長

現在家族休暇制度の導入に向けて、仕組み作りが出来ないか取り組んでいる。



その他の質問

- 坂田小学校、西原南小学校の指定校区見直しについて
- 西原町地域商品券配布事業について
- 兼久安室線制限速度20キロ廃止について

問

教員の負担軽減のためのスクールロイヤー制度導入について

南風原町では、2020年からスクールロイヤー（以下SL）を配置している。同町は、利点について法的な観点からのアドバイスで対応

の方向性が明確になることや教員の負担軽減をあげ、デメリットは特になくしている。現在是不登校の児童生徒に関することや、非行や暴力、いじめ事案、保護者からの要求に対応しているとのこと。教育部長は他の議員のSL制度についての質問に対し、顧問弁護士で足りるとの答弁だったが、SLと顧問弁護士との違いについて聞く。

問

導入経費について聞く。

教育部長

導入している市町村に確

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



ながはま 長浜 ひろみ 議員



■スクールロイヤーについて

問 学校や教育委員会が抱えるいじめや不登校、保護者対応などの法的課題について専門的な助言や研修を行う学校弁護士とも呼ばれるスクールロイヤーについて、本町の導入の必要性を問う。

総務部長 現在弁護士へ相談を要する事案は、町の顧問弁護士を活用し、相談等を引き受けている。現段階では、引き続き教職員の負担を軽減するため、迅速に顧問弁護士を活用できる体制を構築し、学校を支援していきたい。今後、スクールロイヤーの導入については近隣自治体の状況や費用対効果、弁護士確保に係る経費などを調査研究していきたい。

■南児童館へ折りたたみ式おむつ替え導入

問 西原南児童館へ折りたたみ式おむつ替えベッドを導入の声がある。他児童館へも折りたたみ式おむつ替え導入の必要性のアンケートも必要では、導入も必要であると考えるが問う。

福祉部長 西原南児童館より利用者の方から、折りたたみ式おむつ替えベッドがないことで不便という意見がある旨を確認している。今後導入に向けて検討する。西原南児童館以外の3館においても、おむつ替えベッド導入の必要性について、アンケートを実施したい。

■西原ハイツ自治会前に横断歩道を

問 夏休みに西原ハイツ自治会事務所前で、6時半からラジオ体操をやるが、そこは町道でもある。町民より横断歩道と、自治会手前の書道教室前に徐行のマーク設置を要望する声がある。自治会からの要望がなければ設置できないのか。

環境安全課長 自治会として要望があれば一緒になって警察署に要請をしていける、自治会長に要望書の提出をお願いしている。



西原ハイツ自治会前に横断歩道を！

その他の質問
○こどもの貧困対策について
○物価高騰不況について
○地域課題について

西原町
議会事務局の
ホームページへ
ようこそ！



<https://www.town.nishihara.okinawa.jp/life/5/19/>



西原町議会のホームページでは、議会の仕組みや議員紹介等をはじめ、各議員の一般質問を動画で見ることできます。

また、定例会や臨時会の日程や内容、結果など、さまざまな議会の情報がいっぱい！ぜひご覧ください！

議員紹介



動画配信



令和8年度 西原町の 一般会計補正予算

可決!



歳入歳出それぞれ1億3,772万6,000円追加し、令和8年度の歳入歳出予算の総額は
168億9,272万6,000円となっています。

主な歳入

○国庫支出金	533万7,000円	○寄附金	1,187万6,000円
○県支出金	1,448万8,000円	○繰入金	4,400万円
○繰越金	6,426万2,000円	○諸収入	△223万7,000円

主な歳出

○総務費	938万9,000円	○民生費	6,056万3,000円
○衛生費	696万8,000円	○土木費	2,713万5,000円
○教育費	△1,107万6,000円	○農林水産業費	422万4,000円
○商工費	596万3,000円		

令和8年度 西原町の 特別会計補正予算

可決!



国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ557万2,000円を増額し **41億3,439万1,000円**とする。

土地区画整理事業特別会計

歳入歳出それぞれ232万6,000円を増額し **7億4,643万9,000円**とする。

公共下水道事業

収益的収入は98万9,000円を増額し **4億5,850万5,000円**とする。
収益的支出は98万9,000円を増額し **4億4,155万2,000円**とする。
資本的収入は423万9,000円を増額し **9億863万5,000円**とする。
資本的支出は116万1,000円を減額し **10億4,007万円**とする。

水道事業

収益的支出を45万6,000円増額し **10億697万7,000円**とする。

令和7年度 政務活動費^(※1) 使途一覧表

政務活動費一人当たり年度交付額 120,000円 (単位:円)

No.	議員名	調査研究費	研修費	広報・広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費	計	残余金 ▲表示はマイナス額(※2)
19	大城 純孝	116,990					11,472		128,462	▲ 8,462
1	大城 誠一						54,080		54,080	65,920
2	真栄城 哲	105,182					18,450		123,632	▲ 3,632
3	与儀 清						36,900		36,900	83,100
4	大田 實						48,780		48,780	71,220
5	山城 勝貴	20,360					45,690		66,050	53,950
6	儀間 駿太郎	125,130							125,130	▲ 5,130
7	伊集 悟			133,415			16,912		150,327	▲ 30,327
8	長浜 ひろみ	39,120		5,000			1,245	11,998	57,363	62,637
9	伊計 裕子		36,930				90,028		126,958	▲ 6,958
10	喜納 昌盛			58,979			18,450		77,429	42,571
11	新田 宗信			78,618	1,700		36,900	59,048	176,266	▲ 56,266
12	與那嶺 良樹						18,450		18,450	101,550
13	新川 喜男								0	120,000
14	比嘉 利和			60,000					60,000	60,000
15	屋比 久満	135,601					18,450		154,051	▲ 34,051
16	大城 好弘	145,706					36,900		182,606	▲ 62,606
17	仲松 勤			55,000		150,000	53,680		258,680	▲ 138,680
18	前里 光信		57,089			46,600		7,420	111,109	8,891
合計		688,089	94,019	391,012	1,700	196,600	506,387	78,466	1,956,273	323,727

※1 政務活動費は議会の審議能力の強化と議員の調査研究活動基盤の充実を図るための費用です。

※2 ここで▲表示となる分は自己負担となります。

令和 8 年 第 3 回 臨時会 議案議決結果		
事件番号	事 件 名	議決結果
承 認 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（西原町税条例の一部を改正する条例）	承認
承 認 第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例）	承認
承 認 第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（西原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案 第 23 号	令和 8 年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案 第 24 号	令和 8 年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決

令和 8 年 第 4 回 定例会 議案議決結果		
事件番号	事 件 名	議決結果
報 告 第 3 号	令和 7 年度西原町繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報 告 第 4 号	令和 7 年度西原町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告
報 告 第 5 号	令和 7 年度西原町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告
報 告 第 6 号	令和 8 年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書の報告について	報告
同 意 第 8 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同 意 第 9 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 10 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 11 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 12 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 13 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 14 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 15 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 16 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 17 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 18 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
同意第 19 号	西原町農業委員会委員の任命について	同意
議案第 25 号	工事請負契約締結について（東崎兼久線街路整備工事（10 工区））	原案可決
議案第 26 号	動産の取得について（令和 8 年度学校教室 ICT 環境整備事業）	原案可決
議案第 27 号	西原町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例について	原案可決
議案第 28 号	西原町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 29 号	西原町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 30 号	令和 8 年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第 31 号	令和 8 年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第 32 号	令和 8 年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第 33 号	令和 8 年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第 34 号	令和 8 年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第 35 号	動産の取得について（西原町学校給食共同調理場給食用食器購入事業）	原案可決
議案第 36 号	西原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 37 号	西原町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
発 議 第 1 号	西原町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
決 議 第 3 号	開庁時間変更に関する決議	原案否決
陳 情 第 991 号	県産品の優先使用について（陳情）	採択
	閉会中の継続審査・調査申出書	可決

みなさんからの陳情・要請はこうなりました 6 月定例会で審査した陳情・要請の結果を報告します。				
	件 名	提出者	採択方法及び附託委員会	結 果
第 989 号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	パワハラから職員を守る都道県民の会 代表 浜田聡 (前参議院議員)		配付
第 990 号	防災や災害時、復興の対策・運営等に女性の参加を求める要請	沖縄県女性団体 連絡協議会会長 伊良波 純子		配付
第 991 号	県産品の優先使用について（陳情）	公益社団法人沖縄 県工業連合会会長 古波津昇 他 5 名	本会議即決	採択
第 992 号	西原町 B 型作業所に関する陳情	池原 拓也		配付

6 月定例会 賛否の分かれた議案等（6/12）

議案第 36 号 西原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○裁決結果について

本案については、起立によって裁決を行い、以下の様な結果となりました

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案の裁決	退	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○	○	○	○	○	退	○	○	議長

※賛成は○ 退席は退

以上の通り賛成多数により、西原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例は、可決されました。

議案第 37 号 西原町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

○討論動議について

なし。

○裁決結果について

本案については、起立によって裁決を行い、以下の様な結果となりました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案の裁決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	退	×	○	○	○	○	×	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

以上の通り賛成多数により、西原町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例は可決されました。

同意第 16 号 農業委員会委員の任命について

○討論動議について

本案について、討論動議がありましたので以下の通り賛成・反対の討論を行いました。

反対討論の趣旨

與儀 清議員

私は、この委員と3か月ほど関することがありまして、話をするにつけ、話を聞くにつけ、この委員は農業委員の資質がないと判断した。この方が農業委員になれば、町民が多大な迷惑をするのではないかとと思われる。よって反対である。

○裁決結果について

本案については、起立によって裁決を行い、以下の様な結果となりました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案の裁決	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	退	×	○	退	○	○	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

以上の通り賛成多数により、農業委員の任命は可決されました。

発議第 1 号 西原町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

提案者：儀間駿太郎議員

○討論動議について

本案について、討論動議がありましたので以下の通り賛成・反対の討論を行いました。

反対討論の趣旨

喜納 昌盛議員

今回の定数削減案は、住民の負託を受けた議員としての十分な議論を欠いている。定数や議員の身分に関わる問題は、特別委員会などで議会として意思を形成して進めるべきである。本来は、町当局と協議し、定数削減と報酬問題を一体で提案すべきであった。議会と執行部は両輪であり、議員は当局の一部ではないとの自覚が必要である。よって本発議はいったん取り下げ、町当局が報酬問題と併せて再提案すべきである。

大城 好弘議員

議会と執行部は対等の立場であり、議会には基本条例の制定など、先に取り組むべき改革がある。定数問題は議会組織の根幹に関わる重要事項であり、もっと深く議論すべきである。一般質問前に本議案を先行審議する日程は、これまでの議会運営の慣例から見ても極めて異例である。議員が個別に執行部と調整することはあってはならず、議会全体の意思に基づいて対応すべきである。よって本議案は十分に精査した上で再提案すべきであり、いったん取り下げるべきである。

前里 光信議員

西原町にすばらしい人材を育てたいという思いから、今回の定数削減には反対である。前回 22 名から 19 名に削減した際も、報酬引き上げを求めたが実現せず、今日まで先送りされてきた。定数を減らせば当選ラインが上がり、若い人が立候補しにくくなり、新しい人材育成にはつながらない。32 行政区を抱える西原町において、19 名は決して多い数ではないと考える。答申は 15 か 16 であったが、私は現状の 19 名を維持すべきと考え、本案に反対するものである。

伊計 裕子議員

先ほどの質疑に対する答弁には納得できず、定数削減によって本当に求めていることが実現できるのか大きな疑問がある。定数削減が本当に必要かどうかについて、議員間でさらに真剣な議論を行うべきである。特別報酬審議会や行財政改革推進委員会の答申は、定数削減と報酬を一体として示したものである。定数を削減することが、町民の要求や声を狭めることにならないか懸念している。したがって今回はいったん取り下げ、議会全体で改めて十分に議論すべきである。

大城誠一議員

議員定数を 19 名から 16 名への削減について、町民の声を吸い上げ、議会で質疑や一般質問を行う役割が十分果たせるのか危惧するものである。議員の成り手不足の解決は定数削減ではなく、議員報酬を適正化し、若い世代が現役世代の職業選択肢として挑戦できる環境づくりが必要である。定数削減は、若い人たちが手を挙げにくい議会となるのではないかと懸念する。議員は町民の負託に応えるため、勉強や情報収集を重ね、一般質問などを通して町政をただ重要な役割を担っている。以上のことから反対する。

賛成討論の趣旨

伊集 悟議員

西原町特別職等報酬審議会と行財政改革委員会の答申は、議会が諮問して得たものであり、真摯に受け止めて対応すべきである。人口減少時代を見据え、議会自らが先頭に立って身を切る改革を行うことに大きな意義がある。19 名でも町民の声を十分反映できているとは言えず、16 名でも議会運営は可能である。議員は地域や自治会の代表ではなく、町民全体の利益と町全体の最適を目指すべきである。大切なのは議員の数ではなく質であり、DX や情報発信を強化しながら、若い世代が政治に参画できる前向きな改革として本案に賛成するものである。

仲松 勤議員

提案者の儀間議員は賛同者を代表しており、賛同者もほぼ同じ考えを共有している。定数や報酬に関する審議会答申はこの 4 年間で 2 回示されており、選挙前に提案すべきとの内容であった。議会全体で前向きに協議する時間は十分にあったが、多くの賛同が得られなかった現状がある。定数は議会議員が提案し、報酬は予算に関わるため町長部局が提案するのが基本である。以上を踏まえ、今回の提案は時宜を得たものであり、覚悟を持って本案に賛成するものである。

真栄城 哲議員

定数問題は議論を続けるほど結論が見えにくくなり、先送りするより決断することが必要である。前期の特別委員会では、定数と報酬は切り離して考えるという経緯があった。19 名で本当に町民の負託に応えられるだけの意見を十分拾えているか、私自身も言い切れない。一般質問を行う議員は平均 12 ～ 15 名であり、16 名でも議会運営は可能だと考える。結果を断定するものではないが、将来にわたり西原町議会をよりよくするための決断として本案に賛成するものである。

山城 勝貴議員

議員定数の改正は将来にわたり持続可能な議会運営を実現するための改革の一步として賛成するものである。議員定数を 19 人から 16 人に改めることは単なる削減ではなく、議会の役割や議員一人一人の活動を活性化する契機になると考える。全国的に議員の成り手不足が課題となる中、多様な世代や立場の人が参画できる議会づくりが重要である。定数適正化は議会機能の後退ではなく、議会の質を高め、町民から信頼される議会へ進化するための改革である。将来の議会を担うため、今いる議員の責任として改革を進めるべきである。

屋比久 満議員

議員定数を19名から16名へ削減することについて、葛藤はあったが、将来の議会のあり方を考え賛成するものである。これまで一般質問や地域の声を聞く活動を通して、町民の立場で多角的に意見を吸い上げ、議会運営に努めてきた。議員は特定の地域だけではなく、町全体の声を届ける町議会議員としての役割を果たすことが重要である。定数削減により若者や女性が手を挙げるかは、実際に取り組んでみなければ分からないと考える。今後、若者や女性が議員に参画する機会を増やすためにも、本件発議第1号に賛成するものである。

○裁決結果について

本案については、起立によって裁決を行い、以下の様な結果となりました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺 良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案の裁決	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	退	○	○	○	○	×	○	×	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

以上の通り賛成多数により、西原町職員定数条例の一部を改正する条例は、可決されました。

6 月定例会 賛否の分かれた議案等（6/12）

決議第3号 開庁時間変更に関する反対する決議

○討論動議について

本案について、討論動議がありましたので以下の通り賛成・反対の討論を行いました。

反対討論の趣旨

伊集 悟議員

開庁時間の変更は、単に窓口業務を縮小するものではなく、自治体DXを進め、住民サービスの利便性を向上させるための取組である。これまで役場に行かなければできなかった手続を、スマホ一つですべて行える環境づくりこそ、解消すべき住民サービスの不便さである。窓口業務の効率化により、対面対応が必要な方へ、より丁寧で質の高いサービス提供が可能になると考える。職員もオンライン申請の拡大や「行かない、書かない、待たない窓口」の推進に努力しており、議会もDXの歩みを後押しすべきである。時代の潮流に乗り遅れないためにも、開庁時間の見直しは必要な取組であり、本決議案に反対するものである。

儀間 駿太郎議員

開庁時間変更への懸念は理解するが、持続可能な行政サービスを運営するため、DX化の推進は避けて通れない時代である。行政は来庁者の時間帯や手続内容などのデータを基に、オンライン化や公式LINEの充実など具体的な改革を進めている。町民サービスの向上には、オンラインでできることは進めながら、人による丁寧な対応が必要な場面にも力を注ぐことが重要である。与那原町や浦添市の事例でも、実施後は町民の理解を得ながら改革を進めていると聞いており、本町も検証しながら進めるべきである。実行した後に町民の声を注視し、議論を深めながら行政サービス向上につなげるため、本決議案に反対するものである。

賛成討論の趣旨

仲松 勤議員

職員の働き方改革や業務効率化、財政負担軽減の必要性は理解するが、住民サービスの低下につながる懸念がある。日中4時までの来庁が困難な高齢者、子育て世帯、共働き世帯など、これまで17時15分までに受付していた町民への影響は大きい。デジタルに不慣れな方も多く、今回の開庁時間短縮は住民サービスには逆行する施策であると考えている。町民はお客様であり、役場は西原町の最大のサービス産業であるという基本理念で議会活動を行っている。誰一人取り残さない住民サービスを続けるため、10月1日からの開庁時間変更に関する決議に賛成するものである。

○裁決結果について

本案については、起立によって裁決を行い、以下の様な結果となりました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間 駿太郎	伊集 悟	長濱 ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺 良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
議案の裁決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	退	×	×	○	×	議長

※賛成は○ 反対は× 退席は退

以上の通り反対多数により、開庁時間変更に関する決議は否決されました

西原南小学校の6年生の皆さんが議場見学をしました!

西原南小学校6年生のみなさんが、令和8年5月28日(木)に西原町の議場見学をしました。議会事務局職員による議会のしくみや役割などについての説明に加え、議会本会議の雰囲気を感じてもらうために質問&回答を行う模擬議会をクラスごとに行いました。「西原南小学校の自慢できること(楽しいこと)や困っていること」、「校長先生にお願いしたいこと」について議長席や傍聴席に座り、議会本会議ながらの雰囲気を感じながら議長役生徒の進行のもと、一人ひとりが元気よく答えてくれました。

これから西原町を担う若い子どもたちが議会に関心を持ち、様々な意見が反映されやすい地域づくりにつながっていくよう、西原町議会は引き続き子どもたちの見学を歓迎します。



お詫びと訂正

- 議会だより第108号の13ページにおいて、議案議決結果の「年」が「年度」表示となっておりました。正しくは以下の通りとなりますのでお詫びして訂正いたします。



(誤) 令和7年度 第1回 臨時会 議案議決結果

(正) 令和8年 第1回 臨時会 議案議決結果

(誤) 令和7年度 第2回 定例会 議案議決結果

(正) 令和8年 第2回 定例会 議案議決結果

- 議会だより第108号の15ページにおいて、見出し「請願第5号 大雨による水害対策等の改善及び補償」は、正しくは右の通りとなりますのでお詫びして訂正いたします。

(誤) 請願第5号 大雨による水害対策等の改善及び補償

(正) 請願第5号 大雨等水害対策に関する請願書

※この請願書は決して補償を求める内容ではありません。誤解を招く表記があり大変申し訳ありませんでした。

題字制作者

西原小学校5年生

やまざと こなつ

山里 心夏さん
【ひとこと】

最初は、題字のバランスがむずかしかったけど、私は今バレー部で力強くとりくむことを目標にしている、「議会」の文字をダイナミックにかくとバランスがうまくとれたと思います。



表紙の題字と写真を お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字や写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(議会だより表紙の題字・写真について)

TEL 945-5122 FAX 945-5045

mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

6月議会の傍聴者

延べ人数

38/人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 与儀 清

つづやき
九月は沖縄では安曇の月である。古くは東廻(アガリマール)、今帰仁上り(ナキジヌブイ)の時期である。そして九月九日は最近まったく行わなくなった「菊酒」なる行事があった。菊の葉二、三枚にお酒を注いで祖先にそなえて、無病息災・長寿の祈願をするのである。しかし町議会議員にとって今年の九月は決戦(選挙)のときである。私たち広報委員六人(委員長山城勝貴、副委員長伊計裕子、委員大城誠一、與那嶺良樹、大田實、与儀清)の広報委員会も、このメンバーでは今回が最後となる訳で「実に淋しいかぎりですな!」と心でつぶやく…。

9月13日(日)は、西原町議会議員選挙・沖縄県知事選挙です!